

2026 年 5 月 13 日

まちづくり活動計画書

1 助成を受けようとするまちづくり活動について

団 体 名	名東プレーパークの会
ま ち づ く り 活 動 名	プレーパークの開催
活 動 地 域	名古屋市名東区内
活 動 の 背 景	（団体の立上げのきっかけや活動に至る背景をアピールしてください。） ・2023年度後半、東山オアシスの森の整備事業の一環で、名古屋市緑政土木局主催でプレーパークを11月、1月、2月に実施（てんぱくプレーパークの会の出張開催）。名古屋市主催では継続的に活動することができないため、2024年度以降も定期的に活動できるよう、名東プレーパークの会を立ち上げた。 ・2024年度は東山オアシスの森が工事のため近隣の荒池ひろばにて月1回プレーパークを開催。 ・2025年度は東山オアシスの森（藤巻・山香の森）にて開催。2025年9月都市センターの助成金を活用し倉庫を購入＆設置したことで、準備・片付けの負担が大幅に軽減。藤巻以外に、名東児童館、猪子石住宅、高針原公園など、開催エリアを拡大。 ・2026年度はさらに、未就園児向けの平日午前中のプレーパークと、県営猪子石住宅にて平日月2回放課後の居場所事業をスタートさせ、地域における子どもの居場所の充実に向けた取り組みをさらに発展させていく。
目 的 ・ 目 標	（活動の目的と、活動により実現したい目標及び成果を具体的かつ簡潔にご記入ください） ■目的 プレーパークは、子どもが「やりたい」と思う遊びをできる限り実現できるよう、禁止事項を最小限にした外遊びの場である。通勤族が多く地域とのつながりが希薄になりやすい名東区において、年齢を問わず子どもがのびのびと遊べる場を提供することで、親子が自然に集い交流する機会を創出し、地域のつながりを育むとともに、子育てしやすい環境づくりに寄与することを目的とする。 ■目標 地域の親子や関係機関にプレーパークの存在を周知し、参加者の拡大を図る。 遊びの価値や「自分の責任で自由に遊ぶ」という理念を伝え、理解を深める。 ■成果 プレーパークの認知が広がり、継続的な参加者が増加するとともに、理念への理解が進むことで、地域における子どもの遊び場として定着する。また、参加者同士の交流が生まれ、地域のつながりの形成につながる。

活 動 内 容	(上記の目的、目標に沿って、活動内容や実施方法を、具体的かつ簡潔にご記入ください。) 昨年度からの継続事業として、藤巻・山香の森において月 1 回（日曜日）プレーパークを開催する。さらに 2026 年度は、名東区内の子育て支援施設と共同で月 1 回の平日開催を行い、主に未就園児親子にも参加しやすい機会を提供する。あわせて、県営猪子石住宅集会所において月 2 回、平日夕方の居場所事業を開始し、主に放課後の小中学生を対象に実施する。 活動では、木登り、どろんこ遊び、水遊び、焚き火など、日常では経験しにくい遊びを取り入れ、子どもの主体的な遊びを支える。 また、チラシを作成し子育て支援施設や小学校等に配架することで周知を図り、新規参加者の獲得につなげる。さらに、講演会を開催し、遊びの重要性やプレーパークの理念について地域住民への理解促進を図る。	
活 動 予 定 期	2026 年 6 月 ～ 2027 年 2 月	
助 成 金 交 付 申 請 額	100,000 円	※1 回目（上限 5 万円） ※2 回目、3 回目（上限 10 万円）

2 まちづくり活動の視点

以下の視点で活動内容についてご記入ください。

審査基準① 必要性	・地域に根ざしたまちづくり活動内容か ・自分たちの住んでいる地域を住みよい環境にする活動か ・活動の実施にあたって、まちづくり活動助成金が必要な活動か ・活動メンバーのみの趣味や仲間づくりではなく、多くの人に理解や共感が得られる活動か
(活動の必要性について、上記観点から分かりやすくご記入下さい。) ・近年、多くの公園で禁止事項が増え、子どもたちが思いきり遊べる機会が少なくなっている。プレーパークは、子どもの「やりたい」という気持ちを大切に、できる限り自由に外遊びができる場として、主体性や育ちを支える役割を持つ。 ・名東区では子育て支援拠点の整備が進み、屋内の居場所は充実してきた一方で、親子で外遊びを楽しめる機会は十分とは言えない。外遊びのきっかけが少ない家庭にとって、気軽に参加できる場が求められている。 ・通勤族が多い地域特性から、親子がゆるやかにつながり、安心して過ごせる場づくりは、孤立した子育ての予防にもつながる。プレーパークは、保護者同士の自然な交流が生まれる場でもある。 ・本活動は 3 年目を迎え、地域での認知や参加者の広がりが見られ、少しずつ定着してきている。現在は、実施場所や対象を広げるなど、発展的な段階に入っている。 ・プレーパークの理念や子どもの遊びの重要性について地域に広く知ってもらうため、講演会を開催し、地域住民や子育て関係者への理解促進にも取り組む。	
審査基準② 実現性	・活動内容が具体的になっているか ・活動内容の資金計画などは妥当か ・人員や規模などは妥当か
(活動の実現性について、上記観点から分かりやすくご記入下さい。) ・活動メンバー全員が名東区近隣在住で、日頃から名東区の子育て支援事業に携わっていることから地域の関係機関や住民と連携しながら活動できる体制が整っている。 ・2024 年 4 月から活動を開始し、月 1 回の活動を重ねてきた。2025 年度から東山オアシスの森（藤巻・山香の森）での活動となり、より自然豊かな環境で子どもの自主性や創造性を育む開催をしてきた。毎月 1 回の日曜日の活動の他、名東区内の子育て支援施設と協力し平日の活動も増やし、未就園児親子の居場所としていく。 ・昨年度から継続し、名古屋市緑政土木局、藤巻町自治会、東山総合公園管理事務所、東山森づくりの会などと連携している。 ・助成金を超える部分については、カンパを集め活動する	

審査基準③ 発展性	・今後の活動の発展にむけての視点や計画があるか ・活動実施後に、地域のまちづくり活動にどのような波及効果を及ぼせるか
(活動の発展性について、上記観点から分かりやすくご記入ください。) ・県営猪子石住宅集会所で月２回夕方のプレーパークを開催する。 ・この活動をきっかけに、プレーパークに関わる親子・関係者が増え、活動を支えてくれることを期待している ・毎回同じメンバーが集まるサークル活動を開始し、地域の居場所としてさらに充実を図る ・名東児童館主催のプレーパーク事業に協力する ・2026年度以降、賛助会員や寄付金等の制度を導入し、継続的な資金調達と運営を支援してもらう仕組みを整備する ・これらの取り組みにより、地域の中で子どもの遊びや居場所を支える意識づくりと、まちづくり活動への波及を図る。	

- 3 活動にあたり他団体（町内会、自治会他）、企業、行政の部署など協力する又は調整を図る必要がある場合には、その名称と内容を記入してください。既に連絡等を取っている場合にはその日付も記入してください。

名 称	内 容
・名東区藤巻町自治会（地域まちづくり登録団体） ・名古屋市緑政土木局 ・東山公園管理事務所 ・東山森づくりの会 ・ボーイスカウト名古屋第66団 ・名東区社会福祉協議会 ・名東児童館 ・名古屋市名東区子育て応援拠点にじのアーチ	・プレーパークを開催するにあたり、各関係機関と調整を継続的に行なっている。

※第2号様式は3ページ以内でご記入ください。用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

まちづくり活動の実施スケジュール

・活動の実施日だけでなく、それに向けた準備（団体の打合せ、広報）についても具体的に記入してください。

・1ページにおさまるように記入してください。

年	月	活動項目	活動内容
2026	4	プレーパーク開催（休日） プレーパーク開催（平日）	たけのこ堀り、野草の天ぷら 未就園児向けプレーパーク、放課後の居場所
	5	プレーパーク開催（休日） プレーパーク開催（平日）	名東ウィーク 未就園児向けプレーパーク、放課後の居場所
	6	プレーパーク開催（休日） プレーパーク開催（平日）	水遊び（色水遊び） 未就園児向けプレーパーク、放課後の居場所
	7	プレーパーク開催（休日） プレーパーク開催（平日）	水遊び（かき氷） 未就園児向けプレーパーク、放課後の居場所
	8	プレーパーク開催（休日） プレーパーク開催（平日）	水遊び（流しそうめん） 未就園児向けプレーパーク、放課後の居場所
	9	プレーパーク開催（休日） プレーパーク開催（平日）	水遊び 未就園児向けプレーパーク、放課後の居場所
	10	プレーパーク開催（休日） プレーパーク開催（休日）	木工遊び 未就園児向けプレーパーク、放課後の居場所
	11	プレーパーク開催（休日） プレーパーク開催（平日）	木工遊び 未就園児向けプレーパーク、放課後の居場所
	12	プレーパーク開催（休日） プレーパーク開催（平日）	焚き火 未就園児向けプレーパーク、放課後の居場所
2027	1	プレーパーク開催（休日） プレーパーク開催（平日） 活動報告 講演会	ソリ遊び 未就園児向けプレーパーク、放課後の居場所 活動実績報告書の作成 プレーパーク講演会
	2	プレーパーク開催（休日） プレーパーク開催（平日）	ソリ遊び 未就園児向けプレーパーク、放課後の居場所
	3		

備考 用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

まちづくり活動の予算書

1 支出

計画書の活動における支出（予算）をご記入ください。

費 目 手引きの費目を参照	活動項目	内訳・算出根拠	金 額 (円)
まちづくり活動助成金（申請金額） ※活動経費の内、助成対象となる経費が対象です。 ※上限金額：1 回目は 5 万円、2 回目、3 回目は 1 0 万円			100,000
活動経費の内訳	報償費謝金	講演会	講師謝金
			20,000
	旅費交通費	講演会	講師交通費
			3,200
	消耗品費	プレーパーク	タープ
			10,000
			タープ重し
			5,000
			タープシェード
			3,000
			ベニヤ板、木材等
			2,000
			絵の具赤 1,000 円×8
			8,000
			絵の具黄 1,000 円×8
			8,000
			絵の具青 1,000 円×8
			8,000
			シャボン玉本体 1,000 円×2 個
			2,000
			シャボン玉液 400 円×8
			3,200
			カセットガス 3 本 800 円×3
			2,400
			椅子 500 円×4
			2,000
			折りたたみテーブル
			6,000
	印刷製本費	プレーパーク	パンフレット A4 1/3 仕上がり 1,000 部
			5,000
		講演会	講演会チラシ
			3,000
	使用料及び賃借料	講演会	会議室
		プレーパーク	6,000
			デイキャンプ場 1,600 円×2 回
			3,200
支出合計			100,000

※ 1 ページにおさまるよう記入してください。用紙の大きさは、日本産業規格 A4 とする。

